

# 平成29年度 あきたスマートカレッジ (報告)

## あきたふるさと講座

### F 1 ～ 6 : 秋田市探訪vol.6 ～ “水” が語る秋田市～

会場：【F1～2】秋田県生涯学習センター4階 視聴覚室 補陀寺ほか

【F3～4】ポートタワーセリオン

【F5～6】南部市民サービスセンター 仁井田神明社ほか

【趣旨】6回目を迎える秋田市探訪は、“水”をテーマに行いました。“水”から見える地域の歴史や生活様式について学び、地域の将来について考える機会を提供する講座です。みなとオアシスあきた港「ポートタワーセリオン」や南部市民サービスセンター(SC)「なんぴあ」でも講座を行いました。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
F 1	5月13日 (土)	秋田市上下水道の歴史	秋田市上下水道局職員	38
F 2		【移動学習】仁別編 (バス/徒歩) ～補陀寺・藤倉水源地～	秋田市観光案内人のみなさん 秋田市上下水道局職員	33
F 3	6月10日 (土)	母なる川 雄物川を守る ～クリーンアップで拾った地域活性化へのヒント～	NPO法人秋田パドラーズ 理事長 船山 仁 氏	21
F 4		【移動学習】秋田港編 (船)	国土交通省東北地方整備局 秋田港湾事務所職員	27
F 5	7月8日 (土)	仁井田堰と新田開発の歴史 ～先人の偉業と都市化への変貌～	元秋田市議会議員 相 場 金 二 氏	33
F 6		【移動学習】仁井田編 (バス/徒歩) ～仁井田神明社・仁井田浄水場・水の学習館～	仁井田神明社宮司 舘 岡 雅 規 氏 秋田市仁井田浄水場職員	32
合計				184名

秋田市探訪はこれまで、平成24年度に土崎編、平成25年度に新屋編、平成26年度に河辺・雄和編、平成27年度に山王・八橋・寺内・川尻編、平成28年度には泉・手形・広面編を開講してきました。6回目を迎える今年度は趣を変え、“水”をテーマに行いました。現地集合となる会場は「ポートタワーセリオン」と「なんぴあ」で、これで秋田市のサービスセンターは全て訪れたこととなります。3日間(計6回)の日程で講座を行いました。ここでは、F 1・2講座を中心に触れて報告します。



F1講座:座学での様子



F2講座:藤倉水源地で案内を聞く

本講座では、秋田市上下水道局から全面的な協力支援を受けました。秋田市上下水道局は、F 1・2・6講座で講話や見学・施設案内をお願いしたように、秋田市の“水”を取り巻く生活を語る上では切り離すことができない機関です。

F 1では、「秋田市の上下水道」と題して、水道事業、下水道事業について、総務課経営企画係長の太田信弘氏から解説がありました。水道事業の歴史には、創設期・拡張期・合併以降があり、各期には課題があったこと、そして、それを乗り越えようと尽力した人物や事業があったこと等が話されました。また、給水人口や給水量を示したグラフや当時の写真など詳細で貴重な資料を基に話されたので、参加者の皆さんに「今もなお施設整備や処理の継続が行われ、市民にとって常に安心安全が保たれている」という理解が一層深まりました。

F 2では、4グループ編成で補陀寺、藤倉水源地を見学しました。今年も秋田市観光案内人の皆さんからガイドを務めてもらったおかげで、受講者の質問やつぶやきにも丁寧に答えてもらうことができました。月泉良印が補陀寺を創建したお話や極楽水にまつわるお話には特に受講者が足を止めて耳を傾けていました。当日はあいにくの雨になってしまい、堤上架橋に上がることはできませんでしたが、本堰堤や放水路の景観は見事でした。

今年度秋田市探訪では初めて、テーマ性をもたせた学習の提供をしました。講座間において演題や時代は異なっても、歴史や生活様式をたどっていくと重なりや共通項が見られ理解が深まったような気がします。蛇口をひねればすぐ飲むことができる“水”。そんな“水”をテーマに、様々な物語から最新技術まで飛び出し、私達の暮らしを支え続けていることに改めて気付かされ、価値付けられた講座でした。